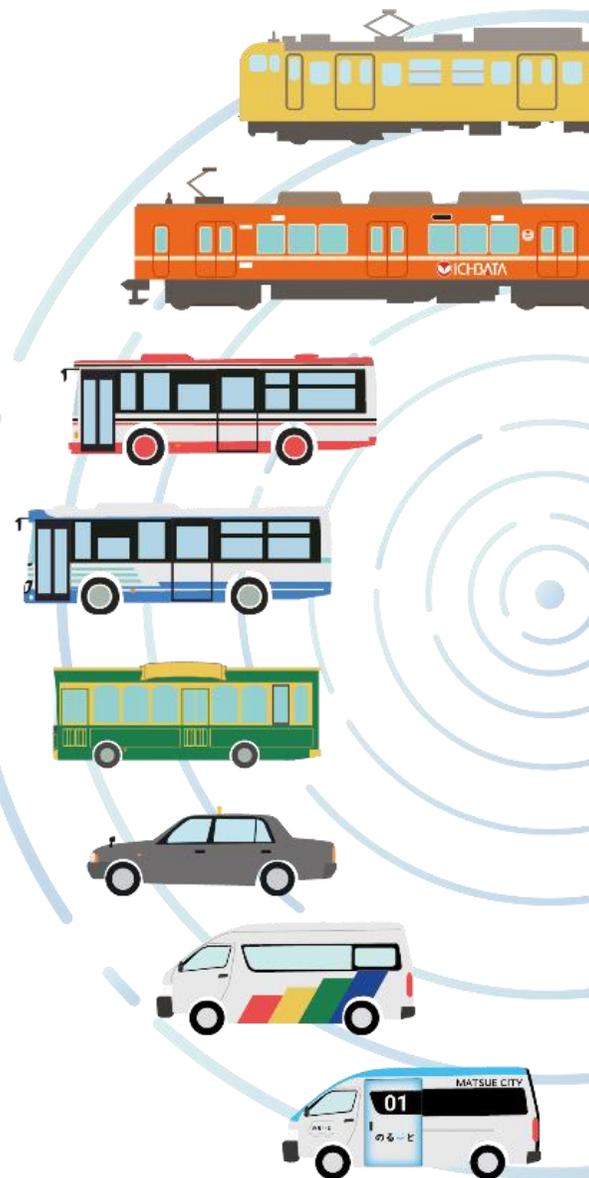


令和6年度第2回

「公共交通で暮らしやすい未来を
実現するプロジェクトチーム」

公共交通の役割分担整理
に向けた今後の方針（案）



1 公共交通の役割分担整理にあたっての基本方針①

1) まちづくりの観点からのバス路線再編の基本方針

「松江市都市マスタープラン(2018-2027)」に基づく方針

- 市域全体を対象に**公共交通をまちの骨格**と位置づけ
- **現行の公共交通網の維持を基本方針**とする
- 特に本市総合計画に掲げる「コンパクト・プラス・ネットワーク」の形成にあたり重要となる「**幹線路線**」（周辺部と中心市街地を結ぶ「**放射路線**」及び市中心部を運行する「**循環系統**」）の維持を図る

※幹線路線の維持とは、自家用車の運転ができない高校生の登下校に極力支障が生じないように、最低限配慮するもの

2) 市民生活の充実を通じた公共交通で暮らしやすい未来の実現

- **通学・通院・買い物・出勤などの移動ニーズ**に応える
- **おでかけ需要の喚起**につながるまちづくりと公共交通

2 各公共交通の役割分担①

各公共交通が「競合」ではなく「共創・補完」関係を構築

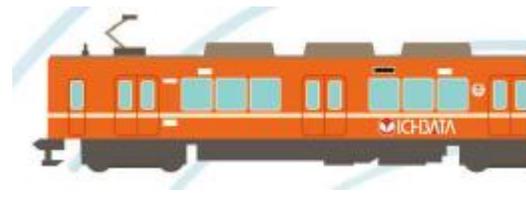
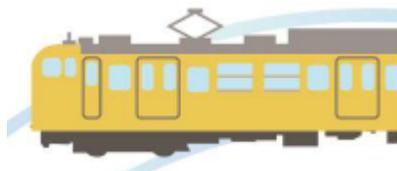
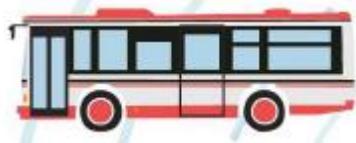
「まちの骨格」を担う

1) 路線バス

- ・「まちの骨格」となる幹線、中心部の循環線などを担う
- ・一定の輸送力が求められる路線を担う

2) 鉄道（JR・一畑電車）

- ・都市間交通として本市と市外を結ぶ「まちの骨格」を担う
- ・市中心部と現行路線バスの空白地である大野・秋鹿地区、宍道地区などを連絡
- ・一定の輸送量が求められる路線を担う



2 各公共交通の役割分担②

郊外・近郊エリアなどの生活ニーズに寄り添う

3) コミュニティバス (AIデマンドバス含む)

- ・ 郊外・近郊エリア内の生活サービス拠点への移動、幹線への接続確保
- ・ 一定の輸送力に満たない路線

4) タクシー

- ・ 昼間時間帯のドアツードアの機動的・個別的な需要が特に求められる高齢者・障がい者などの生活ニーズに対応
- ・ 市域全体において、路線バスなどの運行終了後（夜間・早朝）の対応

5) 新しいモビリティ

① グリーンスローモビリティ

- ・ 路線バスの乗り入れが難しい集住地域での短距離輸送
- ・ コミュニティバスを補完するかたちでの郊外・近郊エリア内の移動

② 自動運転

※導入に向けた問題点や課題を整理

3 令和6年度の取組み【第1回PTから再掲】

令和6年10月 各公共交通の役割分担を整理

各公共交通（バス・タクシー・鉄道・新しいモビリティ等）が、利用者（高齢者・学生等）の移動ニーズ（通院・買い物・通学・出勤等）に応えるための役割分担

